

WEBアノテーション『ノータィア』を開発

WEB上に貼り付けたアノテーション(メモ書き)を貼り付けた位置まで記憶できるシステムの開発に成功。

本業の動向について

ソフトウェア開発を主要業とする。

コンピュータシステムの受託開発を行っており、厳しい環境には置かれているが、総売り上げは昨年比30%アップを計上した。

公設研究機関との連携事業について

連携先公設研究機関の名称

石川県工業試験場

所在地

石川県金沢市鞍月2丁目1番地

連携内容

webアノテーション(メモ書き)技術の研究(特許利用含む)。

具体的には、WEB上の任意の位置にメモ書きして貼り付ける機能で、URLだけでなくコメントを付けたり、貼り付けた位置を記憶したりすることが出来るシステムの研究開発。部分的には現在も研究を継続しており更なる利便性向上に努めている。また、アノテーション技術の研究と平行して、医用画像処理技術の研究も連携して行っている。

連携した動機やきっかけ

石川県工業試験場が主体となって年3~4回開いているソフトウェア技術研究会に参加していたところ、試験場が保有している特許技術を利用したシステム開発を手掛けてみてはどうかと、ご提案いただいたことが始まりである。

連携の効果

- ・技術的な指導を受けることが出来たこと。
 - ・開発途中に関係する企業との調整をして頂け大変助かったこと。
 - ・各種申請書の作製経験が殆どなかったが、親切に指導をして頂き今後の参考になったこと。
- などが挙げられる。

連携して最も効果のあったこと

メディアへの情報発信もして頂けたので、複数のメディアに取り上げられたことで話題になり、会社・製品共に知名度が上がったこと。

連携して最も困難だったこと

特に感じたことがなかった。

連携するメリット・デメリットについて

メリットとしては、技術指導を頂き新しい技術も提供して頂けること。

デメリットではなく要望として、試験場の設備が製造分野に偏っているように感じたので、予算面など様々な事情はあると思うが、IT分野の設備の充実を出来るだけ早く進めて頂きたい。

連携に際しての注意、アドバイスなど

公設機関との連携事業に積極的に取り組むことを勧めたい。その際、公設機関であっても担当者によって対応の仕方が違うので、民間企業側が柔軟な対応をとることが必要になるケースもあることを理解していた方がよいと思う。

公設研究機関との連携で行政に望む支援

開発だけではなく、製品化・販売促進まで一貫した支援体制を整えていただけると、研究・開発企業としては更に助かる。

会社概要

設立:2003年2月(平成15年2月)

資本金:1,000万円

従業員数:47名

URL:<http://www.com-one.com/>